

週間漁海況情報—第37号

平成26年9月22日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

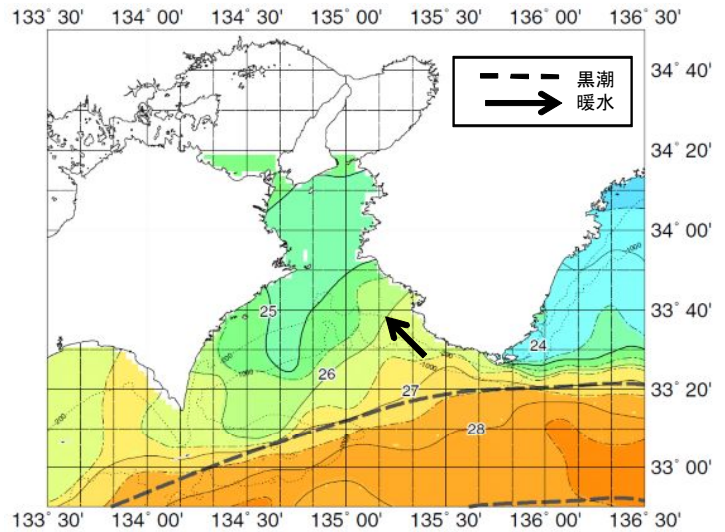
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.9.22）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、やや離岸、潮岬沖で接岸している。

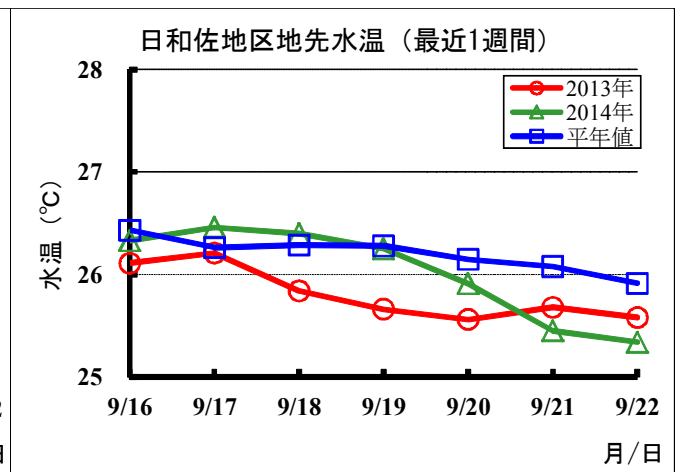
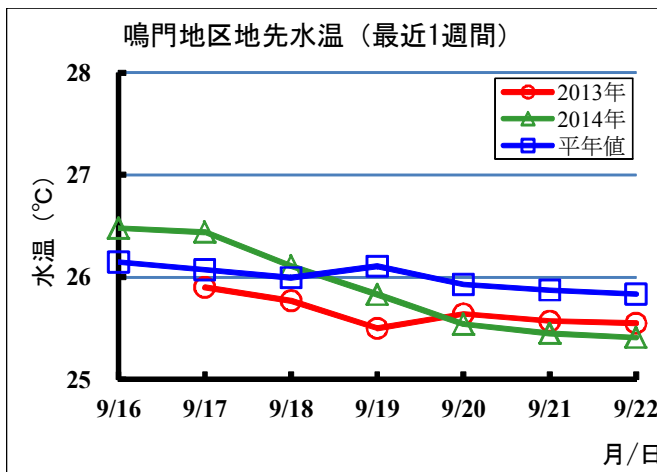
黒潮主流の表面水温は27～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で25℃台、紀伊水道では24～25℃台、海部沿岸は24～25℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸から反時計回りの暖水流入がある。



漁業調査船「とくしま」で9月16、18、19日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は0～20m層は「平年並」の26.0～25.9℃、30～50m層は「やや高め」の26.0～24.1℃であった。

紀伊水道海区観測結果

観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
9/16, 18, 19	今年値	26.0	25.9	25.9	26.0	24.1	32.2	32.6	33.0	33.3	34.2
	平年偏差	-0.2	0.1	0.3	0.8	1.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1
	前年偏差	1.0	1.6	2.4	3.2	5.1	0.0	-0.3	-0.3	-0.4	-0.3



地先水温 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」の25.4～26.5℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並」の25.3～26.5℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並」の25.0～27.0℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

* 鳴門地区地先水温2013年9月16日については欠測

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸でカワハギが0.3トン（1日1隻当たり63kg）、キダイが大主体に0.3トン（同15kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でカワハギが中主体に0.5トン（同4kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大・中主体にタチウオが0.5トン（同13kg）、紀伊水道で中・小主体にサワラが0.8トン（同77kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが2.3トン（同38kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年9月15日～2014年9月21日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	5	317	63	
		キダイ	22	329	15	大主体
建網	海部沿岸	カワハギ	121	466	4	中主体
釣り		タチウオ	36	474	13	大・中主体
パッチ網	紀伊水道	サワラ	10	773	77	中・小主体
		シラス	62	2,325	38	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の9月16日～9月24日には、海部沿岸では、延縄で、カワハギが0.3トン、小型定置網で小主体にマアジが3.1トン、マルアジが0.4トン、カマス類が0.9トン、釣りでイサキが0.2トン、紀伊水道では、釣りで、小主体にサワラが0.6トン、パッチ網でシラスが58.1トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の25℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並」の25℃台で推移する見込み。